



日頃の災害への心構えと備え まず日々の備えから

気象災害や地震・火山による災害から身を守るためには、まず日々の備えが大切です。突然起きる災害に慌てないためにも日頃どのような準備をしておけばいいのかよく考え、対策をたてましょう。



災害に備える非常持ち出し品・備蓄品

一次持ち出し品

- 食料品／飲料水・食料(カンパン・クラッカー・レトルト食品)
- 衣類等／衣類・タオル・アルミシート
- 貴重品／現金・健康保険証・障害者手帳・預金通帳・印鑑
- 日用品等／懐中電灯(予備電池)・携帯ラジオ・手袋(軍手)・生理用品・ティッシュ・マッチやライター
- 安全対策・その他／帽子(ヘルメット)・常備薬・筆記用具・メモ用紙・メガネや入れ歯などの体の機能を補うもの

二次持ち出し品(非常備蓄品)

災害の長期化、または一次持ち出し品を携行したうえで、余裕があれば備えておけば便利です。

雨具・紙の食器・ナイフ・缶切り・栓抜き・ビニール袋・ウェットティッシュ・トイレトーパー・洗面用具・使い捨てカイロ・座布団・毛布・マスク・燃料類(卓上コンロ・ガスボンベ・固形燃料)・ラップやアルミホイルなど、救急セット

こんな用意もしておきましょう。

- 乳幼児のいるご家庭では、粉ミルク・哺乳瓶・離乳食・スプーン・おむつ・洗浄綿・おぶひひも・ガーゼなど
- 妊婦のいるご家庭では、脱脂綿・さらし・T字帯・ビニール風呂敷・母子健康手帳など

地震・津波等の災害に備える

- 大きな家具はしっかり固定し、重いものを高いところに置かない。
- 大雨や台風のシーズン前には家の周りもチェックしましょう。
- 自分が住んでいるのはどんなところか？ 避難方法・場所や医療機関などを確認しておきましょう。

地震・津波が発生したら

- 発生直後は、身の安全確保を最優先します。
- 激しい揺れは1～2分続きます。あわてて外に出ないように。
- 海岸付近では、津波の恐れがありますので直ちに高台に避難しましょう。
- 火災は被害を拡大します。火を使用している場合は極力火を消しましょう。但し危険が伴いますので無理はしないようにして地震の揺れが収まったら火の元を確認しましょう。
- 戸を開けて出口を確保しましょう。
- 津波の浸水が予想される地域や山、かけ崩れの危険がある地域に住んでいる人は、すぐに安全な場所に避難しましょう。
- テレビやラジオで気象台等が発する情報を入手しましょう。
- 車での避難は、渋滞に見舞われ防災活動や避難の妨げになる恐れがありますので持ち物は最小限にして徒歩で避難しましょう。
- 余震に注意しましょう。
- 災害時には正しい情報を入手して行動しましょう。
- 津波警報が発表されたときは、直ちに海岸から離れ安全な場所へ避難しましょう。
- 津波注意報でも海岸、河川は危険なので水泳や釣りはやめましょう。
- 津波は繰り返し襲ってくるので、警報、注意報が解除されるまで海岸、河川には近づかないようにしましょう。

※参考資料：国土交通省 気象庁・福岡管区気象台ホームページより

震度と揺れ等の状況(概要)

- 震度0** 人は揺れを感じません。
- 震度1** 屋内で静かにしている人の中には、揺れをわずかに感じる人がいます。
- 震度2** 屋内で静かにしている人の大半が、揺れを感じます。
- 震度3** 屋内にいる人のほとんどが、揺れを感じます。
- 震度4** ほとんどの人が驚きます。電灯などの吊り下げた物は大きく揺れます。座りの悪い置物が、倒れる場合があります。
- 震度5弱** 大半の人が恐怖を覚え、物につかまりたいと感じます。棚にある食器類や本が落ちる場合があります。固定していない家具が移動することがあり、不安定な物は倒れることがあります。
- 震度5強** 物につかまらなると歩行が困難です。棚にある食器類や本で落ちる物が多くなります。固定していない家具が倒れる場合があります。補強されていないブロック塀が崩れることがあります。
- 震度6弱** 立っていることが困難になります。固定していない家具の大半が移動し、倒れる物もあります。ドアが開かなくなることがあります。壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがあります。耐震性の低い木造建物は、瓦が落下したり建物が傾いたり倒れる場合もあります。
- 震度6強** はわないと動くことができない。飛ばされてしまうこともあります。固定していない家具のほとんどが移動し、倒れる物が多くなります。耐震性の低い木造建物は、傾くものや倒れるものが多くなります。大きな地割れが生じたり、大規模な地滑りや山の形が崩壊することがあります。
- 震度7** 耐震性の低い木造建物は、傾くものや倒れる物がさらに多くなります。耐震性の高い木造建物でもまれに傾くことがあります。耐震性の低い鉄筋コンクリート造りの建物では、倒れる物が多くなります。

※参考資料：国土交通省 気象庁・福岡管区気象台ホームページより

部会だより

環境・防災対策部会

防災図上訓練(DIG)の実施を以下の自治連合会で計画しています。

- 貴船自治連合会…実施済み
6月17日(金) 時間/午後6時～
場所/勤労福祉会館
- 上田中西部自治連合会 7月実施予定
- 東部自治連合会 9月実施予定
- 丸山・丸山第1自治連合会 10月実施予定
- 東部第1自治連合会 11月実施予定
- 幸町自治連合会 平成29年1月実施予定
- 棕野自治連合会 平成29年2月実施予定

実施済みの自治連合会は、順次町歩きを実施し、各町内の問題のある場所の把握、避難経路の把握に務め、次回のDIG実施の参考資料といたします。自主防災組織結成については特に時期を決めず結成のための協議を進めていきます。

健康・福祉部会

5月21日(土)に平成28年度第1回健康福祉部会を開催し、事業計画にあげている「サロン」の開催及び「困りごとお助け隊」について協議をいたしましたのでご報告いたします。

サロン開催

- 「笑いヨガ」
7月26日(火) 時間/午後2時～午後3時30分
場所/生涯学習プラザ 2F 多目的ホール
講師/平山えい子 様(萩在住)
- 「いきいき百歳体操」
9月14日(水) 時間/午後1時30分～午後3時
場所/未定
講師/岡本 順子 様
- 「童謡を歌おう」
11月に予定しています。
- 「健康体操」
平成29年2月に予定しています。

困りごとお助け隊

各自治会単位での実施行動をしていただくための啓発活動を行い、経過報告等の情報交換会を開催いたします。

子育て・青少年育成部会

青少年育成協議会・PTAとの連携を図り、名陵・日新中学校の校区内各小学校の教育環境の整備や、教育委員会より小中一貫校の提案を受けている名陵校区の保護者・地域の方々との協議の場を設けていきます。

総務部会

一緒に広報活動をしていただくスタッフを募集いたします。ご興味のある方、総務部会花形までご連絡ください。

花形携帯/
090-7595-9028



平成28年熊本地震に係る緊急消防援助隊山口県隊(下関隊)の活動についてご報告いたします。

- 下関市消防局員の派遣人数/98人
- 下関市消防局の派遣車両台数/12台
- 派遣期間/6日間

平成28年4月16日(出)～4月21日(休)

- 活動内容/4月16日(出) 南阿蘇村下野地区等で検索活動を実施 要救助者発見には至りませんでした
- 4月17日(日) 南阿蘇村河陽地区で検索活動を実施 要救助者発見には至りませんでした 救急出動 1件
- 4月18日(月) 南阿蘇村赤瀬地区で検索活動を実施 要救助者発見には至りませんでした 救急出動 3件
- 4月19日(火) 南阿蘇村河陽地区高野台で検索活動を実施 心肺停止者1名を発見 救急出動 2件
- 4月20日(水) 南阿蘇村河陽地区高野台で検索活動を実施 要救助者発見には至りませんでした 救急出動 5件

【合計】心肺停止者1名を発見、救急出動 11件



関係各所ではこのように対応いたしました。

警察からの お知らせ

本年4月に発生した熊本地震に、4月14日から4月26日までの間、山口県から災害救助活動等のため延べ約190人が出動いたしました。

下関警察署からも広域緊急援助隊等として延べ約40人の警察官が出動して、余震が続くなどの過酷な勤務状況下で昼夜を問わず行方不明者の捜索活動に従事いたしました。



下関市の対応

平成28年熊本地震により、熊本県を中心に九州各県で甚大な被害が発生しています。下関市としては、被災された皆様に一日も早く普段の生活を取り戻していただくよう、支援に取り組んでいます。

義援金募集

日本赤十字社下関市地区で4月18日～6月30日まで義援金募金箱を市内17箇所に設置し、募金活動を行いました。ご協力ありがとうございました。

災害派遣等従事車両証明書の発行

詳細につきましては、防災安全課に問合せください。(電話083-231-1324)

下関市への避難

被災者の方へ、公営住宅をご提供いたします。詳細は次の連絡先へ問合せください。

県営住宅:山口県住宅課県営住宅管理班 (電話083-933-3880)
市営住宅:下関市建築住宅課 (電話083-231-4101)

市職員の派遣

被災地に市職員を派遣しています。(5月9日現在) 4月16日～5月9日までに、応急給水活動、応急復旧活動、保健指導、事務補助等の応援として、延べ142名を派遣しています。この活動は現在も継続中です。

代表取締役
矢富 丈治
西日本畳株式会社
〒751-0815
下関市本町1丁目1-22
電話 0120-193-172

災害時に避難所へ畳を届けるプロジェクト「5日で5,000枚の約束」(神戸市、前田敏康代表)の一員としてこの度熊本地震被災地の避難所へ畳を送りました。第一便として4月17日岡山・広島・山口県の畳店が作製した230枚の畳を益城町の避難所へお届けしたのを皮切りに、全国の畳店が思いを込めて作った総数5,543枚の畳を7市2町38の避難所へお届けしました。

避難所の方々に畳の上でホッとして頂きたい。ただその一心で。

5日で5,000枚の約束

プロジェクト参加畳店(全国)/348店
2016年4月15日現在の約束/7,120枚